

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>フェニックス・フォーエバー</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.480</b>	△RG <b>0.044</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：フェニックス・フォーエバー**

フレアーの幅  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

PAPからピンとの距離  番

4 インチ

**比較対照ボール：フェニックス・ニューブリッドβ**

フレアーの幅  インチ

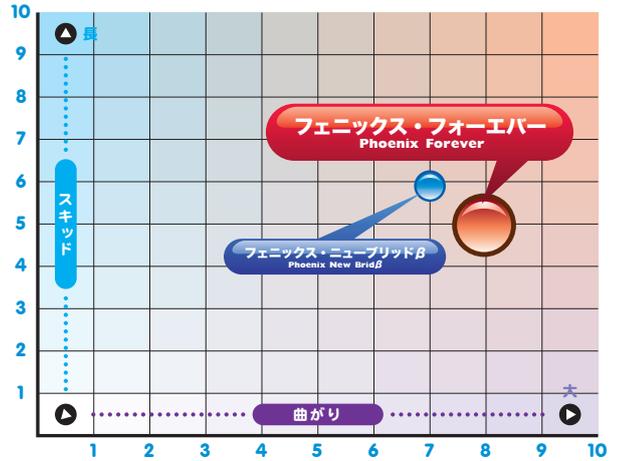
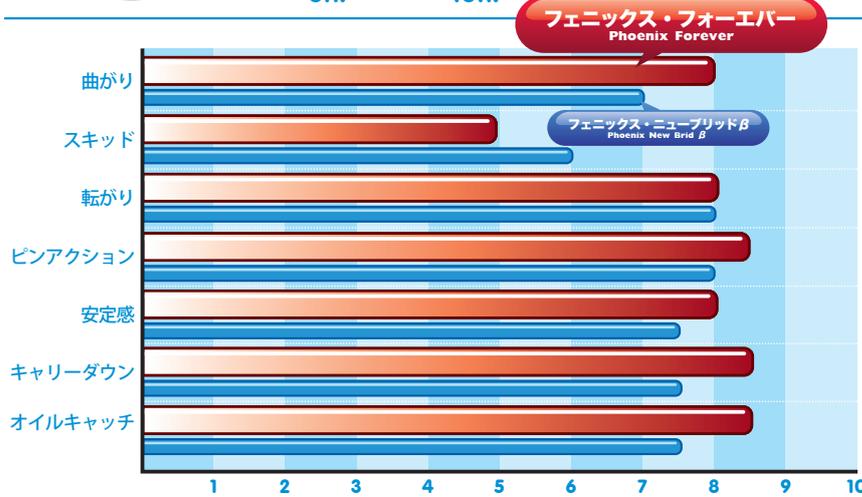
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

PAPからピンとの距離  番

4 インチ



ヘビー  
ミディアム  
ライト  
バフ



### ボールの評価

約1年ぶりにフェニックス(不死鳥)の王道を歩むボールが発売されます。フェニックスの代名詞は歴代から継承されている曲がりの中にも扱い易さが象徴。特に今回のフェニックスフォーエバーは曲がりの中の扱い易さが高いレベルで実現できている安定した軌道を描ける性能です。ミッドエリアでの動き始めの安定感があり、フックからロールにかけての曲がりかたは軌道が読みやすく、曲がりが終わることなくピンヒットまで柔らかく切れながらしっかりと動いてきます。

私はこのボールを気に入っていますが、その理由として

- ①曲がり始めが読みやすく、ポケットまでの軌道が安定していること。
- ②オイルに過剰反応しないこと。
- ③柔らかく低く、重いピンアクション。

と総合的にポテンシャルが高いことです。このボールを投げると、手前のオイルの濃淡やミッドエリアでのオイル状況、キャリアダウンや削れ方という刻々変わるラインの変化を感じることができます。スキッド・フック・ロールのバランスが良く、柔らかく切れるイメージでありながら常にレーンの表面を捉えている印象があり、尚且つ挙動が少ない。曲がりかた、切れかたに嫌らしさがなく、こういう曲がり方ならば回転数の多い方でもスピードが早めの方でも独特の扱い易さを感じて頂けると思います。ヘビーオイルでの安定感を求めるのであればタイプにより#2000・#1000アブラロンで加工すればオイル上でも安定感は増し、イメージを損なうことなく投球できるでしょう。フェニックスフォーエバーは必ずや貴方にとって最高の武器となり、不死鳥の如く点数を導きだせることでしょう。

### 特記事項

**スキッド・フック・ロールのバランスが良く、軌道が読みやすい総合的に完成度の高いボール。柔らかく、低いピンアクションは薄めにも効果的でピンアクションでも勝負できます**